

山口県宇部市

【目指す中心市街地の都市像】

中心市街地活性化基本計画概要

【2期計画:令和7年4月～令和12年3月】

Creative Platform ～生きがいをデザインする都市～

【自治体の概要】人口:156,704人(R6.10.1・住民基本台帳)、面積:287.05km²

本州西端山口県の南西部に位置し、明治時代以降に各地で石炭鉱業を中心とした石炭のまちとして急速な発展を遂げる一方、その過程で直面したばいじん汚染という公害問題を「宇部方式」という独自の取組や緑化運動の実施など産官学民一体となり克服し、「緑と花と彫刻のまち」として成長してきた。

【中心市街地の課題等】

○回遊性の向上

歩行者通行量全体を見ると増加傾向にあるが、目標値には届いていない。また計測地点の中には、年間の平均値で前期計画基準値の50%程度まで落ち込んでいる箇所もあり、前期計画の事業効果は限定的といえるため、引き続き取り組みが必要である。

(※)歩行者通行量は年7回計測しているが、前期計画では毎年10月の数値を実績値としている

○商業機能の維持拡充

前期計画の目標であった中心市街地全体での新規出店数は達成の見込みであるものの、閉業(閉店)数も少なくない。また、主要商店街周辺の営業店舗数は減少傾向にあり、まちなかの商業機能の衰退が問題となっている。

※営業店舗数(主要商店街周辺) R2 485件 → R5 478件

○人口減少・流出の阻止

中心市街地の人口は減少が続き、市全体の人口減少より減少割合も高い状態である。自然減の影響が大きいが、社会増減をみても過去5年間では大きく減少しており、長期的な対策の必要がある。

※居住人口 R1 5,875人 → R5 5,578人 ※社会増減数(R1～R5合計) -98人

【計画目標と数値】

目 標	目標指標	基準値	推計値	目標値
まちなかの にぎわい創出	歩行者通行量 (休日1日あたり)	2,849人 (R5)	2,922人 (R11)	6,000人 (R11)
経済活力の維持向上	店舗増加数	9件 (R2～R5平均)	9件 (R7～R11平均)	15件 (R7～R11平均)
	新規出店数 (参考指標)	35件 (R2～R5平均)	35件 (R7～R11平均)	38件 (R7～R11平均)
まちなか居住の 推進	人口 社会増減数	-98人 (R1～R5合計)	-98人 (R7～R11合計)	+50人 (R7～R11合計)

【基本的な方針①】人々が交流し、くつろぎ、にぎわうまち

「居心地がよく歩きたくなる」まちなかの形成により、芝生や木陰などの誰でも「ゆっくりできる場所」、イベントや出店・アーバンスポーツ・運動など「やりたいことができる場所」を創り出すとともに、彫刻やアートといった文化芸術に関するイベントや子育て世代が楽しめるイベントなど、さまざまなイベントを定期的に開催し、恒常的なにぎわい創出につなげていく。

→目標:まちなかのにぎわい創出

目標指標:歩行者通行量(休日1日あたり) 全53事業

【基本的な方針②】新たなビジネスが生まれ継続するまち

新規出店や起業・創業に向けた環境整備等を促進するとともに、まちづくり会社・商工会議所とも連携し経営相談等のサポートを積極的に行い、閉業店舗数を減少させる(＝事業を継続させる)ことで営業店舗数を維持・増加させ、商業機能の衰退を防ぐ。

→目標:経済活力の維持向上

目標指標:営業店舗数 全28事業

【基本的な方針③】安心して快適に暮らせるまち

都市機能を集積・更新していくとともに、特に県外からの移住者に対する転居費用等の助成制度の実施、子どもや若者のための居場所をはじめ各種公共施設の維持・更新を進めることで、まちなかに住みよい環境を生み出し、居住人口の社会増を目指す。

→目標:まちなか居住の推進

目標指標:人口社会増減数 全15事業

【前期計画目標と数値】

目 標	目標指標	基準値	目標値
まちなか居住の推進	中心市街地 居住人口	5,930人(H30)	6,200人(R6)
経済活力の向上	新規出店数	11件/年 (H28～H30平均)	16件/年(R6)
まちなかにぎわい創出	中心市街地 歩行者通行量 (休日1日あたり)	2,561人(R1)	5,150人(R6)

宇部市中心市街地活性化基本計画の事業概要

人々が交流し、くつろぎ、にぎわうまち

①まちなかウォーカブル事業 (国交省)【主要事業】

「居心地がよく歩きたくなる」まちなかの形成を目指し国道190号(常盤通り)の歩道と副道を一体的に整備する。



②常盤通りにぎわい交流拠点 利活用事業(国交省)【主要事業】

旧山口井筒屋宇部店跡地において、子育て支援拠点とくつろぎ・交流機能を核とする公共施設と、飲食機能などを備えた民間施設からなる新たな複合施設をDBO方式により整備する。



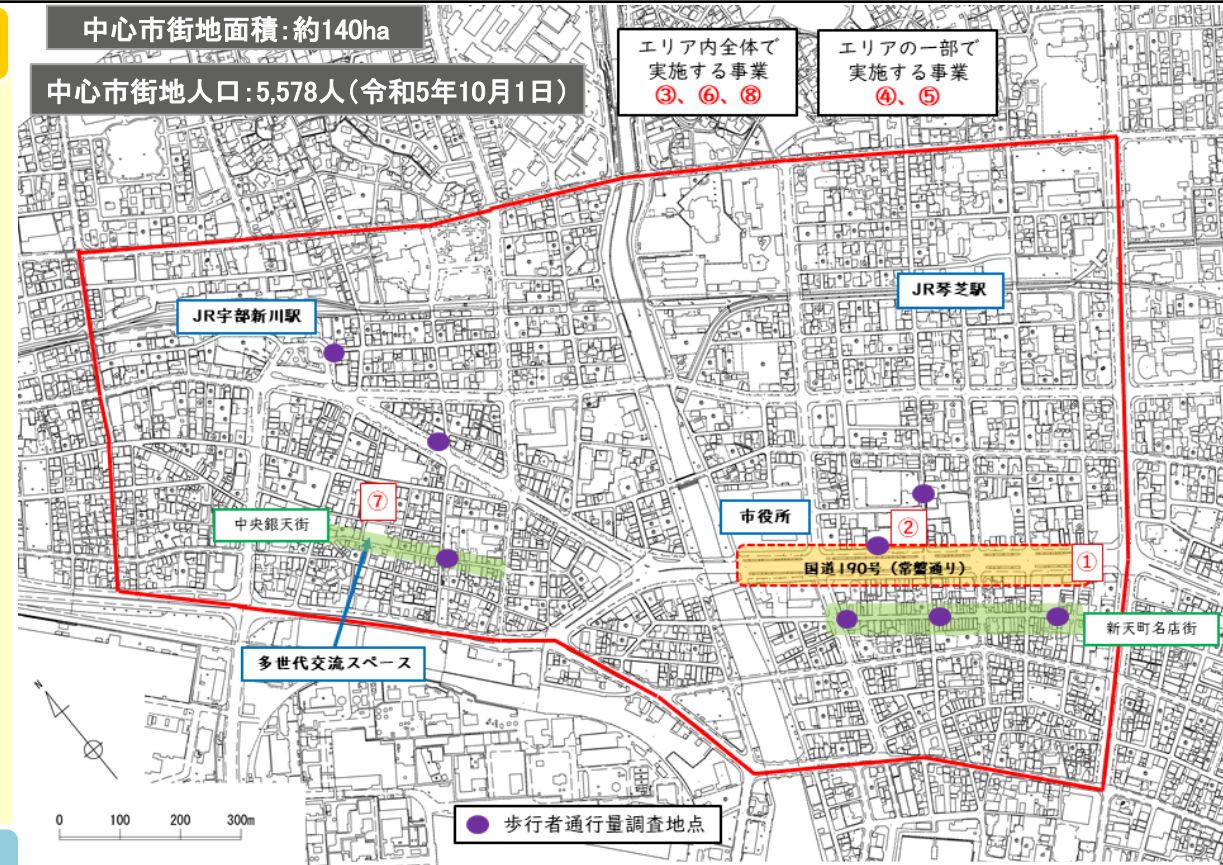
③まちじゅうエヴァンゲリオン(内閣府)

庵野秀明氏の作品を通して、市の食材のPR・公共交通機関の利用促進・観光地の周遊などを促進する周遊型イベントを実施する。

④まちなかイベント開催支援事業(総務省)

多世代交流スペースや国道190号(常盤通り)などで開催される様々なイベントに対し、必要な経費の一部を補助する。

中心市街地面積:約140ha
中心市街地人口:5,578人(令和5年10月1日)



エリア内全体で
実施する事業
③、⑥、⑧

エリアの一部で
実施する事業
④、⑤

新たなビジネスが生まれ継続するまち

⑤中心市街地建物リノベーション補助金事業 (総務省)【主要事業】

中心市街地内の空き店舗を飲食・商業施設や事務所等にリノベーションする際に、改修費等の一部を補助する。



⑥商業活性化事業(店舗改修補助) (総務省)

中心市街地内における既存店舗の改修又はファサード整備に対し必要な経費の一部を補助することで、商業機能の維持・拡充を図る。

⑦オープンイノベーション推進事業(内閣府)
起業に興味を持つ若者や大学等の研究者、市内企業や支援機関等の多様なステークホルダーが参画する起業コミュニティを形成し、若者の地元定着や市内企業によるオープンイノベーションを推進する。

安心して快適に暮らせるまち

②常盤通りにぎわい交流拠点利活用事業(国交省) 【主要事業】《再掲》

旧山口井筒屋宇部店跡地において、子育て支援拠点とくつろぎ・交流機能を核とする公共施設と、飲食機能などを備えた民間施設からなる新たな複合施設をDBO方式により整備する。

⑧UIJターン奨励助成金事業

県外からの移住者に対し、転入の際に必要な経費の一部を助成する。